

和気町議会だより

# 和気議会 NAVI

和気町議会  
第69号  
令和5年  
6月定例会

② 6月定例会より ⑤ 質疑と答弁 ⑥ 委員長報告 ⑧ 一般質問

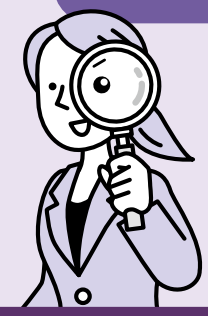




6月議会の  
動画一覧は  
こちら！

# 6月議会定例会

令和5年6月13日~22日  
こんなことが決まりました



令和5年度一般会計補正予算(第3号)ほか10議案を全会一致で可決しました。

## 和気町都市計画税条例を廃止する条例

令和6年4月1日から都市計画税が廃止されます。

都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業が実施され、良好な住環境や経済活動の場が創出されることにより、土地や家屋の利用価値が向上し、その所有者の利益が増すとという観点から創設された目的税で、和気町では、昭和54年度から導入しています。

※用途地域に所在する土地及び家屋の課税標準額に税率0.2%を賦課しています。

※用途地域

稲坪の一部、森、西森、福富の一部、  
駅前、尺所、宮田の一部、日室の一部、  
日室台、和気の一部、曾根

175ha

令和4年度実績

課税額 **29,477,201円**  
納税者 **1,956人**

### ? なぜ廃止するのか

用途地域は、土地の評価額(税額)がもともと高いため、都市計画税を賦課することによる不公平感があることや、用途地域と用途地域外が混在している地区があることなどから廃止する。

## 一般会計補正予算(第3号)

### ● 有機農業産地づくり推進緊急対策事業 … **918.3万円**

この事業は国の補助事業で、有機農業を普及する市町村の取り組みを推進するため、有機農業の団地化や学校給食での有機米の利用など、生産から消費まで一貫した体制づくりを行い、物流の効率化や販路拡大などと一体的に支援するものです。岡山県内27市町村のうちで、和気町が最初に取り組みます。

主な事業内容

有機農業実施計画の策定、有機農業講習会、有機作物栽培教室、技術取得への支援、有機圃場の団地化、学校給食への有機米活用、田植え祭り・稲刈り祭りなど。

事業実施主体

和気町有機農業産地づくり推進協議会(令和5年5月1日設立)  
有機農業者団体、和気町、岡山県東備農業普及指導センター、JA晴れの国岡山

達成すべき成果及び波及効果  
(目標年度:令和7年度)

- 有機農業に取り組む農業者数  
現状値**7名**→目標値**11名**
- 有機農業に取り組む面積  
現状値**1.72ha**(水稻0.55ha・野菜1.17ha)  
→目標値**6ha**(水稻4.5ha・野菜1.5ha)
- 有機農産物販売数量  
現状値**8.5トン**→目標値**10.5トン**



## 請願・陳情

**請** 再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書提出に関する請願  
提出者：日本国民救援会岡山県本部会長 花田 雅行 **審議結果**▶ 全会一致で採択

**陳** 大中山・清水地区の悪臭及び水質改善対策についての陳情書  
提出者：國友 一郎 好本 隆 **審議結果**▶ 全会一致で趣旨採択

## 臨時議会

議案番号	件名	審議結果	
令和5年4月21日	承認第1号	専決処分(和気町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で <b>承認</b>
	承認第2号	専決処分(和気町都市計画税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で <b>承認</b>
	承認第3号	専決処分(和気町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	全会一致で <b>承認</b>
	承認第4号	専決処分(令和5年度和気町一般会計補正予算第1号)の承認を求めることについて	全会一致で <b>承認</b>
	議案第43号	令和5年度和気町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	全会一致で <b>可決</b>
	議案第44号	工事請負契約の締結について (和気町音声告知放送システム更新工事)	全会一致で <b>可決</b>
令和5年5月18日	議案第45号	教育委員会委員の任命について:國友道一氏	全会一致で <b>同意</b>
	議案第46号	令和5年度和気町一般会計補正予算(第2号)について	全会一致で <b>可決</b>
	議案第47号	工事請負契約の締結について (日笠上浚渫残土等処分場整備工事 1工区)	全会一致で <b>可決</b>

# 一部事務組合議会

和気町・赤磐市の一部の事務を共同で行うため、一部事務組合を設置しています。  
一部事務組合の議会は、構成する和気町・赤磐市の議会から選出された議員が、予算や決算等について審議します。

(令和5年5月16日開催)

組合名	議案の件名	審議結果
和気 老人ホーム組合	議長選挙:当瀬万享氏(和気町)が就任	選挙
	専決処分(和気老人ホーム組合個人情報の保護に関する法律施行条例)の承認を求めることについて	承認
	監査委員の選任:山本 稔氏(和気町)が選任	同意
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合	議長選挙:当瀬万享氏(和気町)が就任	選挙
	副議長選挙:佐藤 武氏(赤磐市)が就任	選挙
	専決処分(和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合個人情報の保護に関する法律施行条例)の承認を求めることについて	承認
	監査委員の選任:光成良充氏(赤磐市)が選任	同意
和気北部衛生 施設組合	議長選挙:当瀬万享氏(和気町)が就任	選挙
	専決処分(和気北部衛生施設組合個人情報の保護に関する法律施行条例)の承認を求めることについて	承認
	監査委員の選任:西中純一氏(和気町)が選任	同意



# 質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



## 一般会計補正予算

小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業委託金とは

山田 浩子 議員

Q 具体的にどのような取り組みか。

A 嶋村 学校教育課長

不登校、または登校しづらい状況にある児童について、登校支援、別室支援を行う事業である。

A 新田 教育次長

予算は、登校支援員の人件費に充当する。

A 徳永 教育長

不登校の子どもたちが、他の子どもたちと一緒に学校生活を送れるように取り組んでいる。本荘小学校のみ配置されていた登校支援員を、和気小学校にも配置している。無支援の子どもがゼロになるよう取り組んでいきたい。

西中 純一 議員

Q 登校刺激をあまりやると逆効果になることがあるがどう考えているのか。\*1 適応指導教室が町内にはないがそのことはどう考えているか。

A 嶋村 学校教育課長

子どもたち一人ひとりの状態に合わせて登校を促すのがよいのか見守るのがよいのか判断する。適応指導教室はないが、別室で支援する事業などを行っている。

## コミュニティ活動助成金は

我澤 隆司 議員

Q コミュニティ活動の助成金について、4区への配分内容と仕組みは、責任者である執行部が申請内容を精査して判断はしないのか。

A 河野 危機管理室長

ほぼ10分の10の助成事業で、今回採択を受けた一般助成事業は福富区と宇生区。地域防災事業では、田土区と宮田区が採択された。以前は抽選していたが、令和4年度から区長を中心に相談して、順番制にしている。

A 太田 町長

執行部が決めると、恣意的と言われかねない。平等性から地域で決めていただいている。11月の区要望については、町でも判断する。

## スポーツ振興監の契約内容は

山本 稔 議員

Q スポーツ振興監の勤務時間、契約内容、目的、目標は何か。

A 森元 社会教育課長

週37・5時間、火、水、金、土、日が勤務であり、会計年度任用職員ということで1年契約である。

A 太田 町長

現在は和気関谷高校野球部員の勧誘活動をもらっており野球部員を増やすのが目的で、目標は大きく言えば甲子園出場を果たしたい。

## 簡易水道事業会計補正予算

### 配水管更新工事は

西中 純一 議員

Q 森地内の配水管更新工事は何メートルか。水道ビジョンによる計画的な本管更新工事が。

A 田村 産業建設部長

今回の施工延長は約30メートルで、水道ビジョンとは関係ない。雨水排水路の工事をしてる時に水路内の中の水道管に亀裂を発見したため今回更新する。



和気関谷高校野球部に熱い視線を送る山崎スポーツ振興監(左から2人目)

質問や答弁の様子を動画で見ることができます。くわしくはこちら！



その1



その2



その3

### 用語解説

#### ※1 適応指導教室

不登校の児童・生徒に対する指導を行うために教育委員会及び首長部局が設置する教室で、学校生活への復帰を支援するため、在籍校と連携しながら、個別カウンセリング、集団での指導、教科指導などを行う。教育支援センターともいう。

# 委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と1つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。



## 総務文教 常任委員会

非常勤職員の報酬及び費用  
弁償に関する条例の一部を  
改正する条例

Q 今回設置される旧大國家住宅保存  
修理活用検討委員会について、構成さ  
れる委員と人数は決定しているのか。

A 委員は10名で計画している。メン  
バーは商工会、観光協会、文化財保護  
委員、有識者ほか町の産業振興や観光  
の担当者で構成する計画だ。

Q 有識者とは具体的にどういった人  
材なのか。

A 旧閑谷学校顕彰保存会から選考  
する計画だ。

Q この委員会の目的と会議の開催  
頻度は。また、いつまでに何を決定し  
ていくのか。

A 年間5回程度を予定していて、今  
年度は活用の方向性を決定したい。観  
光を目的にするのか、生涯学習に活用  
するのか、大卒の方向性を今年度末ま  
でに決定したい。

Q 国の重要文化財は県内や近県に  
もあるが、目指すべき先進事例的な  
施設があるのか。

A 県内の事例では観光に供与したも  
のが多いようだ。宿泊施設として活用  
するのはかなりハードルが高いので、独  
色を出せる活用方法を考えていきたい。

## 町都市計画税条例を廃止する 条例

Q 今まで入っていた税約3000万  
円が減ることについてどう考えてい  
るのか。

A これまで徴収していた税額がなく  
なるので、町の一般財源での対応となる。

## 令和5年度 一般会計補正予算

Q サエスタ管理費の修繕料とは具  
体的にどこを修繕するのか。

A 平成11年に完成したサエスタの地  
下にある加圧ポンプが故障して応急処  
置しているが、部品対応ができないため、  
取り替え修繕を行う予定だ。

## 厚生産業常任 委員会

## 令和5年度 一般会計補正予算

Q 有機農業産地づくり推進緊急対  
策事業補助金について、現在7名の方  
が有機農業に取り組んでいるが、何団  
地あつて面積はどれぐらいなのか。ま  
た、町が目指している目標の面積は。

A 把握している面積は、水稲が0・55  
ヘクタール、野菜などが1・17ヘクタ  
ールであるが、団地については把握してい  
ない。また、この事業の目標の面積は約  
6ヘクタールである。

Q この事業の補助金918万300  
0円の使用目的は。

A この補助事業は、有機農業を広く  
周知させ、関心を持つ農業者を増やす  
ことで多くの農業者が知識、技術の取  
得、販路などの拡大をすることなどが  
目的である。勉強会や検討会の実施や、  
有機栽培講習会等の実施による技術  
の取得などに取り組んでいく。併せて  
学校給食への提供により、子どもたち  
への関心を高めるなど普及啓発に繋げ  
ることなどだ。

意欲を持った方々がこの推進協議会  
に入っているので、協力しながら目標に  
向かって進んでいきたい。国も25%は有  
機農業に変えていくという方針を立て

ている。和気町も国の方針に基づきな  
がら、儲かる農業に向けて頑張っていき  
たい。そして、自然に優しい有機農法を  
和気町としても取り組んでいきたい。

Q 協議会はいつ発足されて、どうい  
う組織なのか。事務局はどこか。ハー  
ド事業への補助も可能なのか。

A 事業主体である協議会は今年の  
5月1日に設立した。構成は町内の有  
機農業者が属する団体、町、県の普及  
センター、J Aで、事務局は町の産業  
振興課である。事業内容は、5年間の  
実施計画の策定、検討会や勉強する  
場の開催、技術の取得などのソフト事  
業である。

Q この事業は国の10分の10補助で、  
和気町が積極的 hands を挙げたと推測  
できるよい制度と思われるが、岡山県  
内27市町村の取り組み状況はどうな  
のか。

A 県内で和気町が一番に手を挙げ、事  
業実施を予定している。全国では令和  
4年度末までに42市町村が事業に取  
り組んでいる。

令和5年度和気町  
簡易水道事業会計補正予算

Q 加賀知田第2加圧ポンプ場1号送水ポンプ取替工事により、今後どれくらい対応できるのか。

A 広域水道の受水池から加賀知田第1中継ポンプ場を経て、今回交換する第2中継ポンプ場へ、それから加賀知田の配水池へ送るもので、ポンプの寿命は約15年。今回のポンプは11年で交換となったが、毎週、現地での点検を実施している。引き続き町民に不便をかけたないように実施していく。

物品購入契約の締結

Q 現在使用しているダンプの処分はどうするか。

A 今回購入するダンプの納品に約1年かかる予定で、古いダンプをもう1年は使用しなければならぬ。その時点で古いダンプの下取りの価値があれば検討するが、他の施設での使用も考えている。最善の方法をとっていきたい。



26年間使用している2トンドンプカー

大中山・清水地区の悪臭及び  
水質改善対策についての陳情書

意見

臭気や水の環境はわかりづらく目に見えにくい難しい問題だ。議会として趣旨採択がよいのでは。これまで改善計画により努力されていると思われるが、依然として環境基準の規定値を時々上回っている。改善努力をしているからよいものではなく、基準値を守る努力として、設備面、特に下水道の取り組みが必要なのでは。

意見

寒いときは非常に臭いが強く、改善しないといけない問題だ。国や県の費用を使って、畜舎を改善することを検討すべきだ。強ちに国や県の施策を求めていくために本件を採択してほしい。町が積極的に取り組んでいけば解決する問題なので、議会としても意見を出した方がよい。

Q 検査内容について、周辺河川の水質調査を毎年4回、臭気調査は隔年で年2回実施しているが、臭気調査も毎年4回実施できないのか。

A 大中山地内における環境対策の状況について、町として臭気調査、水質調査を行っている。臭気調査は隔年で年2回、6月から9月に行っている。調査の目的は畜産農家に対して臭気の基準を遵守する対策を講じてもらうためだ。大中山地区で用いている臭気指数規制の基準数値14を超えた場合、畜産農家に状況報告を求めている。

水質調査は5月、8月、11月、2月の年4回、長溝川2か所、初瀬川1か所で実施をしている。目的は、付近に河川があることから河川を継続して監視すること、牧場内の汚水の河川への流出、水質の悪化を防ぐために継続調査を行っている。

調査項目が6項目あるが、環境基準には河川ごとに類型の基準値がある。吉井川と金剛川にはそれぞれの基準があるが、初瀬川には環境基準がない。しかし、初瀬川水系の周辺に畜産農家が存在していることから、今後も継続して調査監視をしていきたい。

臭気調査は隔年の実施であるが、令和5年度以降は毎年実施をし、状況に応じて回数を増やしていきたい。

Q 環境改善対策協議会について詳しく知りたい。

A 協議会は平成17年に設立され、メンバーは、岡山県の畜産部局の担当者、和

気町産業振興課及び住民課、畜産農家で、年2回、8月と2月頃に開催している。会議では、水質調査の状況や臭気調査の状況等について畜産農家を含めて協議している。

Q 水質の状況、臭いについても天候や季節で違うと思われる。町は地元への説明会を行い、地元への説明会、協議会も地元に行つて、現地の人の話を聞いて、足で稼いだ情報で活動すべきでは。

A 現在、定期調査を業者に委託して行っているが、臨時的な調査回数を増やすことも可能である。改善されていないのが問題だとの指摘があったが、行政も一生懸命取り組み、畜産農家も一生懸命対策をされている。しかし、結構な頭数があるので、臭いが収まらず、なかなか改善されていない。地元区から要請があれば出向いて説明会も行いたい。

Q 畜産環境改善対策協議会への提案として、環境の視点で専門家を入れることはできないのか。

A 臭気について県は携わっていないが、町として県の環境課にも入ってもらえるよう要望していく。

本議会の様子を動画で見ることができます。くわしくはこちら！



その1



ズバリ!  
ここが気になる!

# 一般質問

## 〈一般質問とは〉

一般質問とは、和気町の行財政全般にわたって、執行機関に対して説明を求めたり、  
または所信をただしたりすることです。これにより、執行機関の政治姿勢を  
明らかにするとともに、政治責任を明確にする目的があります。

一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。  
6月議会定例会には、9名が登壇し、町長・教育長・その他執行部の考えをいただきました。



PAGE  
09

### 山田 浩子議員

- 和気駅北エリアの整備を
- AEDに胸部を覆う三角巾設置を

PAGE  
10

### 居樹 豊議員

- 町営バスの利便性の向上を
- リバーサイド和気周辺の環境整備を
- ひとり親家庭等の放課後児童クラブの  
保護者負担金の減免を

PAGE  
11

### 山野 英里議員

- 子どもひろばや一時預かりを利用しや  
すくできないか
- いじめの動向と対策は

PAGE  
12

### 我澤 隆司議員

- 閉校後6年、旧日笠小、旧山田小の跡地  
活用はどう考えるか
- 町営バスと地域交通システムは
- 和気町のPRは

PAGE  
13

### 広瀬 正男議員

- 町で「こども食堂」を開催できないか
- 町管理の男性トイレに「サニタリーボッ  
クス」を設置したらどうか

PAGE  
14

### 神崎 良一議員

- 災害ごみの集積地は
- 新告知放送システムは
- 和気鶴飼谷温泉のカラオケ再開は

PAGE  
15

### 西中 純一議員

- 国保税の子どもの均等割を廃止できないか
- 日蓮宗不受不施派の史跡も顕彰するべき  
では
- 引っ越しサポートセンター(NPO法人)を設  
立しては

PAGE  
16

### 万代 哲央議員

- 和気橋の架け替え、県道のバイパス化  
を強く要望する時ではないか
- 和気駅前北口駐車場拡幅事業の今後  
の対応は

PAGE  
17

### 山本 稔議員

- 「わくわく健康ポイント」の拡充は
- SNSを使った情報発信はできているか
- 音声告知放送システムの詳しい説明は  
しないのか

# 山田 浩子

山田浩子議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 和気駅北エリアの整備を

## A まちづくりのための産官学を含めた協議会について早めに研究したい

**Q** 令和9年の完成を目指し、国の重要文化財である旧大國家住宅の修復作業が進んでいる。検討委員会で活用について議論されていくと思うが、その上で、和気駅北エリアの整備も検討してはどうか。

中央公民館は老朽化が進んでおり、耐震基準も満たしていない。また、図書館については、暗い、狭い等、町民の方からの意見がある。そこで複合施設の建設を提案する。

生涯学習のために活用できる公民館、明るく開放感があり、なおかつ落ち着いた空間の図書館、中高生、子どもたち、地域の方が交流できるスペース。駅前に誰でも気軽に立ち寄れる場所があるのは魅力的だと思う。また、駅前商店街の閉まっている店舗の活用についても検討してはどうか。ちょっと立ち寄れるお店が増えると、駅前の賑わいも出てくるのではないかな。

私は、和気町にはたくさんの魅力があり、可能性があると確信している。それを一つ一つ、つなげていながら、町内外にどうアピールしていくかが重要ではないか。旧大國家住宅の修復、そして和気閑谷高校の魅力化に取り組んでいる今、和気駅北エリアの整備は重要課題であると考えている。ぜひ産官学を含めた協議会を早急に立ち上げ、旧大國家住宅完成に併せたまちづくりを。

### A 森元 社会教育課長

中央公民館や図書館が抱えている課題については把握している。築53年を経過し、耐震基準を満たしていない。建物の今後の方向性を考える必要がある。図書館は町民の方からは暗い等の意見がある。いずれの施設も今後の在り方を考える時期にあると認識している。まちづくりのための産官学を含めた協議会を立ち上げることも含め、早めに研究していく。

**Q** ぜひこの機会に本気で取り組むべきだと思うが、町長の思いは。

### A 太田 町長

中央公民館は建て替えが必要な時期になっている。旧大國家住宅の検討委員会の中で、複合施設、和気駅からの北エリアを一体的に整備してはどうかとの提案について、色々と検討していく。



老朽化した和気町中央公民館と狭くて暗い和気町立図書館

**意見** 中央公民館、図書館の整備も同時進行で考えるべき。協議会をまず立ち上げて検討を。

## Q AEDに胸部を覆う三角巾設置を

**Q** AEDの設置状況、点検、講習会は。

### A 河野 危機管理室長

町の施設、学校等、28施設に31台のAEDを設置している。電極パッドを2年に1回、バッテリーを4年に1回交換している。講習会は、各施設、各種団体等で実施されている。全町職員を対象に、6月、7月で救急法の研修会を実施する予定である。

**Q** 倒れている方が女性の場合、AEDの使用をためらい、実際に後遺症が残る事故も発生している。女性への配慮として、胸部を覆う三角巾を設置してはどうか。実際に設置している自治体もある。また、三角巾は止血などにも使用できる。

### A 河野 危機管理室長

女性への配慮は必要であるが、誤使用されないよう、現在は三角巾の設置は考えていない。また研究をしてみたい。

# 居樹 豊

居樹豊議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 町営バスの利便性の向上を

**Q** 町営バスは地域公共交通の柱であり、高齢者等の移動手段として一定の成果を上げている。しかし、多くの利用者からの生の声として、意見や要望が出されているが、①運行にあたっての課題は②デマンドタクシーとの併用は③料金体系の見直しは④アンケート調査の結果をどう捉えているのか。

### A 河野 危機管理室長

- ① 現行のバス運行は、平成31年4月からスタートし、様々な意見をいただいている。町営バスはスクールバスの空き時間を活用した定時定路線バスであり、全てのニーズに対応できないのが現状である。
- ② デマンドタクシーの併用については、一つの手法ではないかと考えており、公共交通計画の策定に当たり、今後の運行形態について協議していきたい。
- ③ 一日あたり2000円への料金体系の見直しについては、タクシー事業者との協議が必要であり、難しいと考えている。
- ④ アンケート調査については多くの意見をいただいた。可能



役場に停車中の町営バス

な限り町民に寄り添った計画を策定していきたい。今後、も新たな改善に向け進めていきたい。

**A 太田 町長**  
今年度は、地域公共交通計画を策定する年になっているので、町民の生活の質の向上に繋がるよう検討していきたい。

## Q リバーサイド和気周辺の環境整備を

**Q** 町民の憩いの場として平成元年に整備されたリバーサイド和気は、吉井川に面しロケーションにも恵まれて、日常的に町内外から多くの利用があるが、トイレに象徴されるように施設の老朽化が進んでいる。周辺全体の整備についての考えは。



老朽化が進むリバーサイド和気

### A 岡 産業振興課長

リバーサイド和気は、多目的グラウンドやグラウンドゴルフ場も整備され、町民をはじめ、たくさんの方が利用している施設である。老朽化により建物などの外観の劣化が目立つようになっている。特にトイレの劣化が目立っており、今後、リフォームについて考えていきたい。

令和3年度に国と連携して多目的広場等を整備したが、地域活性化のため河川管理者の国土交通省とも協議しながら、具体的な活用策を検討していきたい。

### A 今田 副町長

施設の改修については、令和6年度当初予算に計上したいと考えている。

## Q ひとり親家庭等の放課後児童クラブの保護者負担金の減免を

**Q** 子育て家庭の生活支援の一助として、保護者負担の減免を検討してはどうか。

### A 新田 教育次長

本町では3つのクラブが保護者主体で運営していて、155人が登録している。利用料はおやつ代を含め1人当たり月5,000円から7,000円である。周辺市町では支援措置を行っているところもあり、子育て支援制度との整合性を図り、創設について研究していきたい。

## A 公共交通会議で協議していく



# 山野 英里

山野英里議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## 子どもひろばや一時預かりを 利用しやすくできないか

## 町独自で特色を持った子育て施策を 考えていきたい

**Q** 町政懇談会でも話がでていたが、益原の子どもひろばは未就学児が対象なので、小学生が同伴している場合には、子どもひろばの利用ができない家族もいる。

**A** 和気町子どもひろばの設置理由は、  
①小学生は利用できないのか。  
②小学生は利用できないのか。  
③設置数や利用対象者の拡充など今後の展望はあるか。



**A** 松田 健康福祉課長  
①乳幼児期における子どもの安全な遊び場、子育て世代の交流、シルバー人材センターの方との世代間交流等としている。  
②小さい子どもが安心・安全に遊ぶためには、小学生は利用できない。  
③子どもひろばの数を増やす予定はない。小学生の利用については公園全体の管理をしている産業振興課とも調整していく。

**Q** 町内での一時預かり制度について、  
①現在の一時預かり制度の内容は。  
②産前産後や日曜日、祝日などの時の対応は。  
③ファミリーサポートセンターやアプリの導入などの対策は。

**A** 町内の一時保育は和気こここ園のみで実施である。また1日単位の料金設定しがなく、時間単位がないのはなぜか。  
**A** 徳永 教育長  
一時保育は年間40人程度が利用している。平成18年から実施しているが、時代と共にニーズも変わり、今後の変更が課題だ。条例改正なども伴うので、研究して進めていく。

等に頼っていると思われる。  
③ファミリーサポートセンターは今後、NPOなどと連携して取り組んでいきたい。アプリなどもあるが、民間になるので個人で利用してもらう。



小学生も利用できる市町村もあります

**A** 松田 健康福祉課長  
①ファミリーサポートセンターは佐伯にあったが、登録サポーター・利用者ともに少なかったため、現在はしていない。一時預かりは和気こここ園で1回1800円、1日3人まで受け入れている。  
②日曜日などの対応は町ではしていないので、親や友人

**Q** 町の子育て支援について、現状を踏まえて今後のビジョンは。  
**A** 太田 町長  
近隣の市町村も参考にしながら、町独自で特色を持った子育て施策を考えていきたい。

## いじめの動向と対策は

**Q** 近年ではSNSの普及などにより、大人が気づきにくい場所での、いじめがある可能性がある。全国ではいじめ認知件数は過去最多だ。  
①町内のいじめ件数、動向は。  
②いじめに対しての町の考え、現在の対応は。

**A** 嶋村 学校教育課長  
①各学校の認知によるので、件数等の公表は控えている。  
②いじめを受けた児童・生徒の生命及び心身の保護が重要だ。令和4年度から年2回、総合質問紙を導入している。

**Q** いじめ自体を生み出さない、という取り組みもできる。  
①\*TRIPLE-CHANGE(トリプルチェンジ)の採用やICTを活用して気分や体調の入力などはできないのか。  
②教員だけでなく、地域の大人も共に学ぶ場を設けられないか。

**A** 徳永 教育長  
①和気町いじめ防止基本方針では、いじめの積極的な認知・100%解決を目標としている。TRIPLE-CHANGEについては研究し、有効であれば導入していく。高校ではアプリを使用しているが、小中学校では導入できていない。現在は、一人一台のタブレットがあるので、活用できないか考えていく。  
②町民への研修等は研究していきたい。

\*TRIPLE-CHANGEとは  
いじめ予防プログラムである。いじめが起きにくい学校をつくるために、3つの変化を起こしていくというもの。  
①まちがった考えや思い込みを正しい知識に変える「考え方を変える」  
②いじめに直面した時にどう対応したらいいのか考え実行する「行動を変える」  
③全ての人にとって居心地の良い集団を作る「集団を変える」

# 我澤 隆司

我澤隆司議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 閉校後6年、旧日笠小、旧山田小の 跡地活用はどう考えるか

**Q** ①町として明確なビジョンはあるのか。

②文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」への登録、定期的なプロポーザルはなぜ実施しないのか。  
③近隣自治体の視察を行っているか。  
④地元企業への働きかけや金融機関との相談は実施しているか。

**A** 海野 財政課長

①町のビジョンは地域の活性化と発展に貢献でき、地域に愛される事業であること。また、町が過大な財政負担を負わない事業であること。  
②文部科学省への登録は検討したい。プロポーザルの募集は、随時、提案を受け付けている。  
③近隣自治体への視察は行っていないが、新聞、インターネットなどで情報収集している。  
④企業誘致の施設としての位置づけになれば、地元企業や金融機関にも相談したい。



旧日笠小学校外観

**Q** 旧和気小学校はPUと20年契約しているが、校舎は活用されてない状況だ。契約どおりなのか。

**A** 海野 財政課長  
教室の利用という契約条件もある。今後、協議や働きかけを行っていききたい。

**Q** 小学校跡地について町として明確なビジョンはあるか。

**A** 太田 町長  
貴重な地域の財産だ。地域活性化の拠点として、活用していきたい。若者の創業支援、ベンチャー企業の誘致などが理想だが、財政負担を考え、民間主体の活用が好ましい。

## Q 町営バスと地域交通システムは

- Q** ①職員が町営バスに乗って、利便性、問題点を考えるべきではないか。
- ②近隣の自治体の視察を行っているか。
- ③町としてビジョンはあるのか。
- ④かつてのデマンドタクシーの実績をどう認識、評価しているか。



和気鶴飼谷温泉前の町営バス停

**A** 河野 危機管理室長

- ①乗ってみて、見えてくる点はあると思う。利用者の意見は、運転手や電話で聞き、問題点を洗い出している。
- ②他の自治体へはヒアリングで情報収集をしている。次期和気町地域公共交通計画を策定するにあたり、アンケートの分析や、他の自治体の視察も考えたい。
- ③町のビジョンについては、地域公共交通会議で意見を聞いて定めたい。
- ④過去のデマンドタクシー事業は、予約が面倒、時間が不安定、1人当たりの運行経費が2,500円を超えるなど、問題点があったと認識している。学校の統廃合により導入したスクールバスを有効活用し、現在の運行形態となっている。

### 意見

ヒアリングやアンケートは必要だが、当事者である執行部が、まず乗ってみて判断する。それが職務ではないか。

## A 地域活性化の拠点として 活用していきたい

## Q 和気町のPRは

**Q** ①和気町には、広報担当セクションがないが、責任者は誰なのか。

②役場、町営施設、町営バス、学校、和気駅など、全てが和気町のメディアだと考えるが、一体活用できないか。  
③メディアへの向き合いについて。組織としての対応が必要であると考ええるか。  
④職員の名刺は、町のプロモーションカードだと思うが、統一したデザインで、公費負担できないか。

**A** 寺尾 まち経営課長

- ①プロモーションを総括する責任セクションはない。
- ②町内の施設は、情報発信、PRの場として、活用できると認識している。
- ③メディア対応は、今後も関係構築には積極的に努めていきたい。
- ④職員の名刺は統一デザインで制作することはPRの観点から有効と考ええる。公費制作については、検討する必要がある。

### 意見

町のPRは重要だ。町を広報する部署が分散している組織はどうか。名刺の公費負担は当時の北川正恭三重県知事が一番に実施した。今後、ぜひ取り組んでほしい。

# 広瀬 正男

広瀬正男議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 町で「子ども食堂」を 開催できないか

**Q** 夏休み中の子どもたちの食を支援する「子ども食堂」について、地区公民館やコミュニティハウスなどで開催はできないか。開催できれば、夏休みの宿題をしたり、友だちと楽しく遊んだりまた、高齢者の方に協力いただけるのであれば、昔話を聞かせてもらったり、物作りを教えてもらったり、いろいろ勉強ができる時間が持てると思うが、開催は出来ないか。

### A 松田 健康福祉課長

岡山県内には、こども食堂が62か所あり、近隣では備前市に4か所、赤磐市に3か所、美作市に2か所となっている。和気町が主体となって実施する場合、対象児童の公平性や民間の飲食店への影響、アレルギー問題など様々な面から、実施すべきかどうかを慎重に考える必要がある。今後、町の子育て支援の方策検討に当たって、子育て世帯へのアンケートなどを実施し、ニーズ調査を進める予定だ。その中で食の支援に関しても、子育て世帯の意見を十分に聞いて、どのような形で進めていくのがよいか考えていきたい。また、民間の活力を利用することになれば、県の補助金の交付条件等について相談に乗っていきたい。

### A 徳永 教育長

学校では、子どもたちの成長の様子を把握するために、年に複数回、身長や体

## A ニーズ調査を行い、できるところから 始めていきたい

重の測定を行って、発達状況の把握に努めている。特に夏休み明けには子どもたちの様子に注意するよう、各学校にも指導の徹底を図っていきたい。

### A 太田 町長

夏休み期間中は、両親が働きに行かれている世帯は、基本的には児童クラブにお弁当を持って通っていると思われる。地域の高齢者の方との交流の場は非常に重要だと思っている。ニーズ調査を行い、できるところから始めていきたい。



町内での「子ども食堂」の  
取り組み

## Q 町管理の男性トイレに「サニタリーボックス」を 設置したらどうか



サニタリーボックスが設置されている駅前トイレ

**Q** 町管理の男性トイレに汚物入れ「サニタリーボックス」を設置したらどうか。岡山県内では、県をはじめ岡山市、総社市、真庭市、新見市等で随時設置をしているが、和気町の進捗状況はどうなっているのか。

### A 永宗 総務部長

和気町では男性向けサニタリーボックスを、令和4年9月より主要施設に設置している。ほかの施設についても設置状況の確認を行い、早急に設置するよう指示している。

### A 太田 町長

サニタリーボックスの設置は、私が町長になって早い段階で取り組んだ。なお、未設置の施設には早急に設置していく。



# 神崎 良一

神崎良一議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q

### 災害ごみの集積地は

## A

### 仮置場を選定し、有事に備えていく

## Q

### 災害ごみの集積地は？

## A 太田 町長

2018年3月に作成した『和気町災害廃棄物処理計画(概要版)』に基づき、仮置場の候補地の現地調査を行い、有効性を評価して選定し、有事に備えていきたい。

## Q

### 和気鶉飼谷温泉の カラオケ再開は

## Q

- ①料金が100円から200円に倍増した理由は。
- ②サエスタのカラオケルームや中央公民館の料金は。
- ③巷のカラオケ喫茶の料金との差は。
- ④鶉飼谷温泉が町民の福利厚生のためとの概念と乖離は。

## A 大竹 鶉飼谷温泉支配人

- ①カラオケ機器は長期リース契約で、利用料でリース料が賄えない状態が続いている。近い時期に機器の入れ替えがあり、値上げが予定されており、経費の増加が見込まれるため、増額した。
- ②サエスタのカラオケルームは、平日800円/時間(土日祝1,000円/時間)中央公民館は、600円/時間
- ③カラオケを楽しむことに特化した喫茶と鶉飼谷温泉内の娯楽施設とは利用形態が異なり、カラオケ機器についても取得状況に違いがあり、料金の差は発生するものと考えている。
- ④当施設は宿泊可能な健康研修施設で、町民の健康増進に役立てればと考えている。経費高騰の中、宿泊料と入湯料は据え置き、その他は見直しを行っている。今後運営状況がコロナ禍前に回復すれば料金の見直しもしていく。



町民の利用が期待されている  
和気鶉飼谷温泉 1階大広間のカラオケコーナー

## Q

### 新告知放送 システムは

## A 海野 財政課長

①高齢者などのデジタル弱者にも、安心して新しい告知放送システムに移行できるよう、京セラみらいエンビジョン(株)と、2週間に一度定例会を開き、協議を重ねている。  
また、新しい告知放送システムは有事の際の防災情報伝達にも活用するので危機管理室とも連携し、Jアラ

## Q

- ①進捗状況、現状は。
- ②町民への周知の時期は、いつで、方法は。
- ③料金は。
- ④更新工事は。

トなど防災情報の伝達手段の仕組みづくりも併せて行っている。

②周知の時期は年明けを予定し、方法は広報「わけ」やホームページで周知する。

③スマートフォンを所有していない高齢者などには専用タブレットの無料配布及び通信料無料を検討している。無料配布対象以外の世帯で専用タブレットを希望される場合は、買取や通信料の負担をいただくことになる。

④主な更新工事は役場内の機器設備の更新、各地区に設置している屋外スピーカー機器の更新である。

# 西中 純一

西中純一議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 国保税の子どもの均等割を廃止できないか

**Q** 国保税の均等割は国民健康保険法の改正で令和4年から2分の1に軽減されているが、課税を廃止して子どもがいる家庭にやさしい制度に変えられないか。

**A 豊福 税務課長**

国保税の均等割は令和4年から6歳未満については2分の1に軽減されている。それ以上の軽減や廃止は、それ以外の方の負担が増えることにつながり公平性に欠けるのできかない。

**Q** コロナに対する傷病手当を事業主に給付するよう、和気町国保条例を改正できないか。

**A 竹内 住民課長**

和気町国民健康保険の被保険者のうち被用者に対し、令和2年1月からコロナウイルス感染または感染が疑われる症状がありその療養のために勤務できなくなった期間について、傷病手当金の対応を行ってきた。しかし令和5年5月8日からコロナウイルス感染症が2類から5類への移行に伴い、傷病手当の取り扱いが終了しているため、給付措置の拡大に関する改正は予定していない。

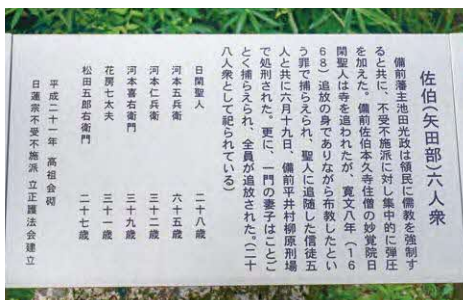
## A 廃止は他の方の負担が増えることになるのでできない

## Q 日蓮宗不受不施派の史跡も顕彰するべきでは

**Q** 本久寺は県指定の重要文化財になっている。日蓮宗不受不施派の史跡も顕彰するべきではないか。

**A 森元 社会教育課長**

本久寺は県と町の補助金をうけ、本久寺にも負担をいただき保存修理した。日蓮宗不受不施派の関係では益原の法泉寺本堂が町指定文化財になっている。また、矢田部地内にある矢田部六人衆及び二十八人衆遺跡が池田家による弾圧によって処刑された信者を祀っており、史跡として町指定文化財となっている。日蓮宗不受不施派については、大切な歴史として伝えていくことが重要である。



史跡「矢田部六人衆」  
(町指定文化財)

## Q 引っ越しサポートセンター(NPO法人)を設立しては

**Q** 尾道市でもやっているような移住定住促進のための引っ越しサポートセンター(NPO法人)を設立してはどうか。

**A 寺尾 まち経営課長**

空き家バンクへの申請は令和3年度及び令和4年度連続して30件を超え、今年度も既に9件の申請が出ていて、空き家バンクの制度が確実に浸透してきている。ただ空き家物件の所在エリアや、物件の状態、売買物件か賃貸物件か、購入費用、家賃といった移住希望者の様々なニーズに対応できるほどの物件は確保できていない。現在移住者向けの支援を行うためのNPO法人は存在しないが、それらの支援については、移住推進室の業務の中での対応や、空き家片付け補助金制度等でおおむね賄えている。

# 万代 哲央

万代哲央議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 和気橋の架け替え、県道のバイパス化を強く要望する時ではないか



今の和気橋が竣工したのが昭和39年3月で、来年で60年が経過する。県道が往来する原地内においては交通量の増大で痛ましい交通事故が多発している。人身事故等を絶たない状況だ。加えて大型トラックの通行、朝夕の渋滞、県道双方からの切れ目のない走行で一刻も目の離せない、気の抜けない交通環境にある。安全安心の日常にはほど遠い状況だ。原地内から赤磐市吉原地内の区間は、吉井川右岸の堤防を通行するバイパス化の実現が緊急の課題である。併せて竣工後60年になる老朽化した和気橋の架け替えを要望する声は日増しに大きくなっている。

A 西本 都市建設課長

5年に1回の定期点検の結果に基づき、今後は橋梁の防水や舗装道路の修繕、劣化した部品を取り替えると聞いている。

Q 大型トラックの通行も増えているが、昨年度調査した「耐荷力照査」の結果は？

A 西本 都市建設課長

主桁の応力状態は、「健全である」との調査結果だったと聞いている。

Q 町の今後の対応は？

A 西本 都市建設課長

和気橋の架け替え要望と周辺県道整備は地元要望を重視し、継続して関係機関と協議していく。

A 太田 町長

6月16日に県の担当課長と、町の優先順位1番の要望として、この件の協議を行った。今後最も善の努力をしていく。



バイパス化が未来につながる(原地内堤防)

## Q 和気駅前北口駐車場 拡幅事業の今後の対応は



3月議会でこの事業関連の予算が削除されたが、対応は？

A 太田 町長

駅前駐車場は、借地である。町有地として北口駐車場を拡幅することが町のためと考える。議会と充分協議し、理解が得られれば進めていきたい。



駐車場拡幅事業とエレベーター設置事業を今後並行して進めていくのか？

A 太田 町長

エレベーター設置事業は私の公約である。駐車場拡幅工事は適切な時期をみて進めたい。



南口駐車場には65台～75台空きスペースがある。エレベーターを設置後、駅の利用客が増えて駐車場が不足する状況になり、対応していけば、だれもが納得するはずだ。

A 太田 町長

北口駐車場の利用率は高い。測量設計の結果を議会で説明し、適切に調整しながら進めていきたい。



エレベーター設置事業で、南口設置にJRは難色を示しているが対応策は？

A 太田 町長

南口設置は困難な状況にある。現在の改札口を利用する設置案で今後JRと協議していく。

A 引き続き、県に強く要望し最善の努力をしていく



# 山本 稔

山本 稔議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 「わくわく健康ポイント」の拡充は

これまでの「わくわく健康ポイント」利用者の実態はどうなっているのか。ポイントのため方やポイントの種類は。対象事業の拡充はできないか。

### A 松田 健康福祉課長

令和4年6月から試行的にスタートし、現在437名の方が登録している。100ポイント貯まれば1000円相当の賞品（鵜飼谷温泉利用券）と交換でき、これまで6名の方が賞品に交換されている。この事業は、各種検診の受診や各種講座の参加、ウォーキングや日々の健康記録など、個々の健康活動への取り組みをポイント化することにより、町民の健康に対する意識の向上や、検診の受診率向上を目的としている。ポイント対象事業については、登録時の「登録ポイント」、検診の受診など参加に対する「参加ポイント」、ウォーキングや健康の記録などの取り組みに対する「チャレンジポイント」などであり、新たなポイント対象として、体育館や温泉プールの定期利用者に対するポイントの付与も現在検討している。



「わくわく健康ポイント」カード

Q 片鉄口マン街道を利用したサイクリング大会やウォーキング大会、マラソン大会なども対象にはどうか。また、高齢者のポイントを増やす取り組みはできないか。

### A 松田 健康福祉課長

登録者のうち75%が70歳以上で、高齢者の登録が多く健康への取り組みは非常に効果的ではあるが、町としては40代以上の若い方の積極的な取り組みを期待している。早い段階から各種生活習慣病予防に役立てるためには、どういったポイント制度がいいのか考えていきたい。

## A 現在検討を進めている

## Q SNSを使った情報発信はできているか

Q 最近SNSの発信が途絶えているが原因は何か。また、漫画の登場人物を和気町のインフルエンサーとして迎えているがこの取り組みなどもSNSを使って発信、拡散をしてはどうか。

### A 海野 財政課長

SNS発信が途絶えていた。要因としては、各部署の担当者が情報発信の有用性の認識不足によるものと考えている。情報発信の重要性を認識し、SNS発信に努めていきたい。

### A 寺尾 まち経営課長

SNSでの情報発信については、「推し武道」に登場するキャラクター「基玲奈さん」を公式インフルエンサーに任命するとともに、「和気町ファンクラブ」を立ち上げ、ファンクラブのTwitterとLINEを開設し、情報発信の体制を強化している。

今後は、町内での複製原画展の開催や観光、特産物といった情報を「基玲奈さん」を活用しながら定期的に発信し、和気町の認知度向上、関係人口の創出に努める。

## Q 音声告知放送システムの詳しい説明はしないのか

Q 新しく導入される告知放送システムの端末について説明はどうか。町政懇談会で町長は「個人的には説明しない」といわれたがどうなのか。

### A 海野 財政課長

新しい告知放送システムでは、個人のスマートフォンアプリと、専用タブレットを導入する予定である。スマートフォンアプリに対する説明は広報誌やホームページで行い、タブレットについては各地区単位での説明会などできめ細かい説明を考えている。また、電話のほかに、訪問による対応も考えている。

## 表紙写真を 募集しています

あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！

発行月(1、4、7、10月)にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

\*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。

## 今月の表紙

### 「みんなで植えたらとっても楽しい!!」



一部加工・トリミングして掲載しています。

撮影場所：父井原地内

撮影者：延藤 安茂

コメント：7月2日に開催された「田植え祭り」での一コマです。

家族みんな泥んこで田植え体験。このあとウナギのつかみ取りもありました。

秋の稲刈りも楽しみですね。

## 編集後記

地元のまちづくり協議会に参加しました。もし日笠小学校が今あれば、全校生徒は20人で、そのうち10人は移住者だという。和気町在住の外国人は現在300人。5年前より122人増えた。和気は動いている。また、2045年の和気町の人口構成は、女性の場合90歳以上が一番になるという予測も出ている。この動きを捉えられないと町づくりはできない。どの町より早くやらなといけない。下水道、光ファイバー網の整備を実践したように。議員自らが作る和気町議会だよりが、今号からリニューアルされました。いかがでしょうか。

(我澤 隆司)



和気町議会だより 第69号 令和5年7月25日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)  
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyosei/choGikai/>



和気町議会  
ホームページはこちら!

和気町議会 検索